

2021.1.1

猪田神社からの初日の出



令和3年 伊賀市成人式開催

1月10日(日)午後、市内9カ所で成人式が行われ、上野南中学校体育館においても、南中校区の新成人の皆さんを対象とした成人式が開催されました。

令和3年度の伊賀市の新成人は895名で、内上野南中校区では85名(内依那古地区15名)の皆さんが晴れて新成人になりました。

本年度は新型コロナウイルス感染防止対策を考慮して、内容や規模も縮小され、いつもとは違った形での成人式となりましたが当日会場に集まった61名の新成人の皆さんは恩師の先生等からのビデオメッセージや小中学校時代の写真などを映像で振り返り、同級生との再会を楽しみながら新成人として2021年のスタートを切っていました。



依那古地区住民自治協議会の防災訓練が行われました

1月24日(日)の午前8時から、依那古地区内の全戸を対象とした依那古地区住民自治協議会の防災訓練が行われました。本年度の年間計画では住民の皆さんにも参加してもらおう避難訓練も検討されていましたが11月以降の第3波の感染拡大もあり、また1月15日に発出された三重県の緊急警戒宣言もあり、コロナ感染拡大防止対策を考えて規模を縮小した形で防災訓練が行われました。

防災訓練では、朝8時に伊賀地方で震度7の地震が発生したという想定で「伊賀市と地区住民自治協議会、さらに各区の自治会とが連絡をとりあって住民の安否確認を行う。」「各家庭においては地震発生後に家族の安否や被災状況を確認して被災者がいなければ玄関に黄色いタオルを掲げて安全を知らせる。」という内容で地域の被災状況をいち早く把握し情報の伝達を行うための訓練が行われました。

1995年の阪神淡路大震災から26年が経ちましたが、新型コロナウイルスの流行もあり、感染対策も踏まえた地域や家庭での備えや訓練が必要になってきます。各家庭でも連絡方法の取り方や非常時の備えをお願いします。



1/8~2/7 三重県・緊急警戒宣言 発出中

「緊急事態措置実施区域への移動の自粛」
「大人数、長時間に及ぶ飲食への参加自粛」

感染拡大防止対策の徹底にご協力をお願い致します

コロナ禍のでの災害対策 避難と準備について

1月に入り、伊賀でも多数のコロナウイルス感染の陽性者が確認されています。そんな中で、もしいま災害が起こったら…。今から考えておきたい事をまとめてみました。各家庭で、ご家族で話し合い、災害対策の備えをお願いします。

◆『分散避難を考えてみて下さい』

分散避難とは、これまでのように避難所に多くの人が密集すると新型コロナウイルスの感染が広がるリスクがあります。その為に避難所以外にも、「親戚・知人宅」「ホテル」「在宅避難」「車中泊」などさまざまな避難先に、地域の人たちが分散して避難する事を言います。

長期的な「車中泊」は新たな問題を起こす危険性もありますが、安全な場所にお住いの親戚や知人など頼れる人がいれば、そこに避難する事も考えてみて下さい。

◆『避難所に持って行くものを準備しておいて下さい』

これまで様々な場面で防災用の持出品で何が必要かのお話があったと思いますが、このコロナ禍の中では、「感染症を防ぐために」持って行くものがリストアップされています。

『マスク』『アルコール消毒液』『体温計』などが必要となります。

自治体や避難所でも準備されることとなりますが、数が少なかったり共有したりする事からのリスクを避ける為にも準備出来るものは準備をしておいてください。

◆『避難所で気をつけないといけないことを覚えておいてください』

避難所での感染を未然に防ぐためにも、手洗いうがいや体温測定を行って下さい。

避難所では3つの蜜を避ける事を考えておいてください。他人との距離をとる・仕切りを活用する・背を向けて座る・密接した状態での会話は避けるなどの自己防衛を心掛けて下さい。

「新型コロナウイルスの影響で地域で避難所の訓練ができなくなっている。感染リスクを減らすためにどんな対策ができるか、家族で話し合ったり、必要なものを備えたりして、イメージトレーニングをしておくことが大切だ」と言われています。大雨が予想される地域では「早めの避難」を心がけてください。同時に「避難先」も考えてください。避難所などで人が密集すると新型コロナウイルスに感染する心配もあります。

大雨が降ってから避難先や避難方法を考えたのでは間に合いません。あらかじめハザードマップなどで自宅周辺のリスクを把握し、頼れる知人や親戚を探しておくなど、今からできる備えを少しでも進める様にしてください。

税の申告 無料送迎バスの案内

令和3年度の所得税確定申告及び住民税の申告の手続きについて、本年度もゆめドームうえのに申告会場が設けられます。合せて無料バスが運行されますのでご利用下さい。

★運行日；2月19日（金）、3月5日（金）

行き	市民センター発	9:40	11:00	13:50
	ゆめドーム着	9:50	11:05	14:00
帰り	ゆめドーム発	11:30	14:20	15:40
	市民センター着	11:40	14:30	15:50

依那古探訪

～依那古のお寺巡り

シリーズ～

下郡・法専寺のお話

下郡の集落の中ほどに、浄土真宗本願寺派の「法流山・法専寺」があります。建立は室町時代の1412年とされ、当時は伊勢の善覚寺・伊賀の法専寺と言われたほどの格式と勢力があり、伊勢から奈良までの2000戸以上の檀家を束ねる寺院で、伊賀の浄土真宗派の寺院の約半数は法専寺の末寺だと言われています。

天正伊賀の乱で法専寺も焼き払われて建物や様々な文献・資料は全て焼失してしまい建立当時の様子を記したものは無くなったと言う事です。

現在の建物は40年程前の河川改修に合わせて移転して建てられたものですが本堂は鮮やかな色彩の装飾品や絵があり、境内には作られた年代は定かではありませんが、一説では伊賀の乱でも焼け残ったと言われる半鐘が残されています。

集落の中にひっそりとある歴史ある法専寺を訪ねてみて下さい。

